

| 学校教育目標 | 中・長期的目標 | 総合評価 |
|--|--|--|
| <p>「永えに地域のシンボルたれ」をモットーに、平和的な社会の創造者としての自主・自立の精神に満ちた資質を培う。</p> | <p>(1)自主性・協調性を培い、自ら学び自ら考える力を伸ばす。</p> <p>(2)一人ひとりを大切にし合い、夢や希望を育み、個性を伸ばす。</p> <p>(3)地域の信頼を担い、心豊かでたくましく生き抜く力をつける。</p> | <p>・大方の生徒については、”挨拶がしっかりでき、服装や行動等も落ち着いている。対応も明るく好感が持てる。”との評価をいただいた。厳しい教育条件の下、多くの課題を抱えながらもこのような状況を保持していることは評価できるのではないが。学習面においては学ぶ意欲を喚起させる工夫を引き続き考えていきたい。</p> <p>・高校時代は人生の方向を見定めるための大切な時期だけに、人として社会の中で前向きに生きる力がつけられるよう指導していきたい。家庭や地域、或いは卒業生などとも連携協力し、全ての生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、学習進路、生活指導、クラブ生徒会活動などを充実させたい。</p> <p>・生徒による通学路のゴミ拾いは、評価を頂いているが、他にも頑張っていることがなかなか表に出なくて残念という意見もある。更に、本校の教育目標や諸活動が生徒、家庭や地域にご理解いただけるよう、広報活動を充実させたい。</p> |
| | 今年度の重点目標 | 成果と課題 並びに 改善・向上策など |
| | <p>少人数編成による基礎学力の定着と魅力あるコース制に向けての検討。</p> | <p>・少人数講座については、保護者、生徒ともに概ね支持されている。力のある生徒を伸ばしながら、低位生や心身に悩みを抱える生徒にも対応できる環境・体制作りを引き続き研究してゆく。指導要領の改訂をふまえ、教育課程やコース制の見直しを進めたい。</p> |
| | <p>一人ひとりの人格を尊重した生徒指導の充実と指導体制の確立。</p> | <p>・朝の挨拶運動等により、自主的・自発的に挨拶の出来る生徒が多くなっている。部活動生徒以外にも挨拶が定着するよう、更に活動を進めたい。</p> <p>・また、年間を通して行っている身だしなみ・服装・頭髪の指導、授業時間中の校内巡視、定期的な駅前巡視などにより、落ち着いた学習環境が保たれている。</p> |
| | <p>学校の活力の源泉となる生徒会活動とクラブ活動の更なる振興。</p> | <p>・今年で3回目となる阿南高フォーラムは、保護者や学校評議員と意見の交換の場として定着したと思われる。</p> <p>・アンケート結果によると、生徒会活動に積極的な生徒は増加の傾向にある。ただ、生徒・職員の数少なく、クラブ活動へ様々な制約が生じてきている。</p> |
| | <p>自ら希望する進路実現を図る進路指導の充実。</p> | <p>・アンケートの結果、希望進路の実現に関して概ね満足している(3年生生徒約90%)が、更に生徒の実態に即した指導が必要である。</p> <p>・大学等への進学実績を高めるとともに、就職を希望者する生徒への指導も強化していきたい。</p> |
| | <p>開かれた学校づくりと、家庭・地域との連携・協力。</p> | <p>・家庭との連携・協力は概ね良好である。更に努力したい。公開授業においては、地区の防災無線による広報をおこなった。地域高校である点を生かし、周辺地域との連携を更に強化したい。</p> <p>・ホームページをリニューアルし、定期的に更新している。</p> |
| 今年度の総合評価 | | A (B) C D |

| 領域 | 対象 | 担当 | 目標や評価の項目 (丸数字は重点目標との関連) | 評価の観点 | 成果と課題 | A | B | C | D | 改善・向上策など | |
|------|--------|-------------|---|---|---|----------------------------|-----|-----|---------------------------------------|--|------------------------------------|
| 学習指導 | 学力向上 | | 1. 学力の実態把握 | ・早期に学力の実態把握を行い、実態に即した授業及び学力補充の方策ができたか。 | ・入学直後の基礎力診断テストによって学力の経年比較データの蓄積ができています。 ・定期テスト前には、朝学習の徹底、低位生への補習を行った。 ・生徒の学力に合わせた授業展開ができなかった。 | 0% | 43% | 43% | 14% | ・蓄積したデータの分析が早急に必要、変化してきている生徒の学力への学校としての方針を出す素材とする。それにより補習、TTの検討へつなげる。 ・新組織として取り組んでいって欲しい。 | |
| | | | 2. 基礎学力の獲得 | ・習熟度別授業や補習の位置づけを明確にし、定期的に基礎学力の小テストを実施し、学力を確認、向上させる。 | ・授業内での継続的な小テストは各教科で取り組んでいる。 | 0% | 46% | 54% | 0% | ・長期的な視野で朝学習の計画、実施を行う必要がある。 | |
| | 教科コース | | 3. 三年間を見据えたシラバスの作成と理解、および活用の促進 | ・わかりやすいシラバスを作成。 ・生徒や保護者へシラバスを配付する。 | ・シラバスをHPにアップ。 ・生徒への授業計画のアナウンスが不十分であった。 | 7% | 64% | 21% | 7% | ・選択科目のガイダンスの折、周知徹底をはかる。 | |
| | | | 4. 教科指導の工夫改善 | ・生徒に学習意欲を喚起させる。 ・生徒の実態に応じた授業内容を工夫する。 ・習熟度、少数授業については、成果と課題を総括することにより、効果的指導を探る。 | ・実技は興味を持って取り組んでいた。 ・低学力者や無気力者にどう興味を持たせ、力をつけるかが課題である。 | 7% | 64% | 29% | 0% | ・興味、関心、意欲を持たせる授業研究。 ・基礎的な部分でもっとわかりやすい教材を取り入れたい。 | |
| | 図書 | | 5. 図書館利用の改善 | ・資料貸出、調査、館内利用がスムーズに行えるためのサービス及び環境整備ができたか。 ・授業、課外活動への十分な資料準備やサービスの提供ができたか。 | ・日常的なサービスはできたが、調査等利用者のニーズを掘り起こす努力が不十分であった。 ・授業等での資料は、相互貸借なども利用して提供できた。 | 7% | 64% | 29% | 0% | ・十分な予算をつけ購入してほしい。 ・除籍等を含めて、書架を見直し整備に努める。 ・授業等での利用を促す呼びかけを行う。 | |
| | | | 6. 視聴覚教材や機器の活用 | ・よりわかりやすい授業のために、視聴覚教材や機器を活用できる環境作りができたか。 | ・授業で利用する機会は増えた | 0% | 54% | 46% | 0% | ・今後とも授業で活用する工夫をしてゆく。 | |
| 進路指導 | 学年進路 | | 1. 充実した年間計画の作成と各学年の連携強化 | ・定例係会を通じて学年と係で情報を共有し、より有効な指導の企画ができたか。 | ・模試をもっと活用するべき。 | 0% | 64% | 36% | 0% | ・学年主導型の進路指導ではあるが、ある程度学年間で統一した指導内容も設けるべき。 | |
| | | | 2. 進路情報のより効果的な提供 | ・進路室の環境整備を進めたか。 ・進路通信やPTA総会資料は充実したか。 ・掲示物、配付物の管理は適正か。 ・送付物管理は迅速かつ適正か。 | ・努力はしているが、なかなか保護者に進路情報を送る機会が少ない。 | 15% | 77% | 8% | 0% | ・進路通信を年間通して定期的に発行する。 ・進路室前の掲示などで生徒の意識啓発を行っていく。 ・PTA係とも連携して、保護者とともに進路を研究していく機会をつくりたい。 | |
| | | | 3. 進路データの蓄積と公正な書類作成 | ・データの蓄積と有効活用が図られたか。 ・正確公正な調査書作成と厳正な校内選考がおこなえたか。 | ・データの蓄積はできている。 ・書類作成は担当者の負担が大きかった。 | 0% | 83% | 17% | 0% | ・関係の委員会などと連携してデータ分析を行っていききたい。 ・書類作成のチェック体制を整え、実施する予定。 | |
| 生徒指導 | 生指 | | 1. あいさつ・声かけの推進 | ・生徒の心を開き、あたたかく受け止め、成長を促す働きかけがなされているか。 | ・できている。 ・なかなか相手に伝わらず苦慮している。 | 50% | 50% | 0% | 0% | ・生徒会とも連携して更に運動を続けていきたい。 | |
| | | | 2. 授業姿勢等の確立・維持 | ・授業の規律を維持し、授業を大切にしているか。 | ・厳しく指導している。 ・なかなか相手に伝わらず苦慮している。 | 19% | 69% | 13% | 0% | ・職員の意思統一 | |
| | 職員生徒会 | | 3. 校内・通学路等の美化保全 | ・校内、通学路等を美しく保つ習慣を身につけ、モラルを高める指導がなされているか。 | ・机、ロッカー周辺が片づけられなかった。 ・以前より汚くなった。 | 0% | 63% | 31% | 6% | ・日頃の清掃活動をしっかりおこなう。 | |
| | | | 4. 喫煙防止・交通安全・薬物乱用防止・情報機器利用の安全・性及び思春期教育・障害者理解・犯罪防止・人権教育の充実 | ・各種問題の実態把握と有効かつ予防的な指導、啓発がなされているか。 | ・交通安全講話、薬物乱用防止講話、携帯の使い方講話など、多くの機会を設け、予防・啓発に努めた。 ・喫煙の広がりは抑えられているように感じる。 | 27% | 53% | 20% | 0% | ・やや常習化が懸念されている生徒への対応と家庭への呼びかけ(喫煙) ・さらなる啓発活動の推進(薬物防止、交通安全) | |
| | 保健生徒相談 | | 5. 生徒理解・相談・支援態勢の強化 | ・学校生活で困難を抱える生徒の理解に努め、適応を促す相談や充分な支援対策が連携してとられたか。 | ・担任との連携やスムーズな支援内容の検討、継続をどう進めるか。 | 14% | 64% | 21% | 0% | ・早い段階での個々の支援力キックアップ作り。 ・能率的なケース会議の開催。 ・中学からの情報提供を依頼。 | |
| | | | 6. 生徒の健康管理や保健指導 | ・保健室が十分に利用され、生徒の健康管理や増進活動はよくできたか。 | ・養護教諭を中心に、きめ細かに対応した。 ・養護教諭不在の時にも連携して、対応ができた。 | 40% | 60% | 0% | 0% | ・日常生活を健康で怪我なく生活するための情報提供をし意識の向上をはかる。 | |
| 特別活動 | 生指 | | 7. 保護者への広報活動と連携の強化 | ・学校の様子や指導の考えなどを保護者に知らせよう努め、連携・協力が図られているか。 | ・入学式やPTA総会など保護者が集まるときを中心に、方針や状況を伝えた。 | 0% | 71% | 29% | 0% | ・分かりやすく、共に考えてもらえる広報のあり方を探りたい。 | |
| | | | 8. 生徒指導研修等 | ・生徒指導上の問題や指導についての共通理解や認識が深められるように図られたか。 | ・研修の場がほしい。 | 0% | 0% | 21% | 0% | ・研修の場を企画したい。 | |
| | | | 生徒会 | 1. 人格の完成を目指し、より良い社会人となるための特別活動 | ・生徒会活動を通して自分の能力や個性を伸ばす指導ができたか。 | ・意欲的に取り組ませることがなかなかできなかった。 | 0% | 64% | 36% | 0% | ・一人一人の関わりを諸行事で深めていけるように努力したい。 |
| | | | | | ・登下校時に挨拶を交わしたり、来校者に会釈ができるような指導ができたか。 | ・生徒会役員生徒の取り組みも奏功し、概ね達成できた。 | 36% | 57% | 7% | 0% | ・学校の良さ伝統として、さらに徹底できるように努力を続けて行きたい。 |
| クラブ | | 3. クラブ活動の充実 | ・上級生には尊敬の念を、下級生には親愛の情を持って接し、心の通った生活ができるような指導ができたか。 | ・生徒間の目に見える形でのトラブルはほとんどなかったが、相互の関係の希薄化も見られるように感じた。 | 0% | 38% | 62% | 0% | ・クラブや生徒会活動の更なる充実で生徒間の交流が進むようにしたい。 | | |
| | | | ・自己を確立できるような校風を築くための環境が整えられたか。 | ・自己確立させることのできる校風の構築には更なる努力が必要である。 | 0% | 62% | 38% | 0% | ・生徒自らの活動はもとより、職員からの具体的な動機付けも肝要かと思われる。 | | |
| 生徒会 | | 2. 生徒会の活性化 | ・文化祭や校外活動の中で活動の様子が十分伝わったか | ・努力はしたが、十分とは言いがたかった。 | 0% | 69% | 31% | 0% | ・生徒の中にも発信の意欲は出てきているので、それを活用していきたい。 | | |
| | | | 2. クラブ活動の充実 | ・部活動を活性化し、加入率を一層向上させることができたか。 ・部活動の成果を上げるための環境の整備・充実させることができたか。 | ・1年生は担任の啓発もあり、加入率が伸びた。わずかであるが、活性化してきた。 | 6% | 44% | 50% | 0% | ・活性化の反面、停滞している部活動もあり、改廃を含め、善処していきたい。 | |

| 領域 | 対象 | 担当 | 目標や評価の項目 (丸数字は重点目標との関連) | 評価の観点 | 成果と課題 | A | B | C | D | 改善・向上策など | |
|---------|----------------------|------------------|--|--|--|--|------|-----|-----|---|--|
| 教育活動 | 教育課程 | 学年 | 1. 教育課程の検証 | ・教育目標の実現に向けての特色ある教育課程を更に充実させるため現状を検証し、見直しの機会をもてたか。 | ・2学年の選択等の細部の検討を行った。 ・H22導入の道徳教育全体計画の作成を行った。 ・H24年度新課程の先行実施に向けて検討を進める必要がある。 | 0% | 71% | 29% | 0% | 新コース制3年次選択科目について、進路指導及び学年と協力しながら履修内容や選択条件など細部の検討を行う。 | |
| | | | 2. 教育課程の説明、理解 | ・希望進路の実現を図るため、コースや選択科目説明会を効果的に実施したか。 | ・10月に1,2年のガイダンスを実施した。 | 0% | 14% | 57% | 29% | 0% | キャリアデザイン、総合的な学習の時間を有効活用し、一層の充実を図りたい。 |
| | | | 3. 教育課程の充実 (個々に応じた選択科目の設定) | ・生徒が目標をもって科目選択ができたか。 ・科目選択に生徒が満足したか。 | ・3学年選択講座では選択列の調整によりほぼ希望に沿う科目編成ができた。 | 14% | 64% | 21% | 0% | 学校評価の生徒アンケートを利用した検証方法を工夫する。 | |
| | | | 4. 「総合的な学習の時間」の 実効的実施計画および具体的な研究 | ・総学のねらいを達成するために、条件整備に努める。 ・定期的に成果・課題を検証し、改善を図る。 | ・他校との合同進路ガイダンス等新しい取り組みを行った。 ・学年主体で年間計画に沿って遂行できた。 | 0% | 0% | 58% | 42% | 0% | 2学年総合研修や文化祭展示発表の在り方等見直しを進める。 |
| | 進学コース 担当者会 | | 1. 確かな知性と自己実現を果たせる学力の修得 | ・個人の成長が把握できるようなデータの収集ができたか。 ・校内の考査や校外模試の情報収集し、分析結果を活用する。 | ・実力テストは全国的な自分の力を知る良い機会となっている。 ・外部模試や実力テストの結果がうまく活用できなかった。 | 0% | 0% | 42% | 58% | 0% | ・進路ニュースを発行し、生徒や保護者に情報を定期的に伝える。 ・FINEシステムの有効利用をはかりたい。 |
| | | | 2. 生徒一人ひとりによる進路目標の設定と、その進路の実現 | ・進路希望に応じた学習指導ができたか。 ・希望の進路が実現できたか(3年) | ・都留文科大学や長野県短期大学へ合格できた。 ・外部講師を招いて面接指導や志望理由書講座などを実施。各自の進路実現をはかった。 | 0% | 0% | 75% | 25% | 0% | ・成績上位者を更に伸ばすとともに、全体のボトムアップを図りたい。 ・大学見学・学習合宿などを通じて、進学希望者の学習意欲の向上を図りたい。 |
| | | | 1. 情報に関する基礎的基本的な知識と技術の習得。 | ・理解度や学習段階にあったレベルの検定受験ができたか。(能力があるのに下位に甘んじていて消極的にならないように) | ・放課後や夏期休業中など、時間をかけて補習を行った。また、自主的に取り組む生徒も見られ上位級に合格した。 | 0% | 0% | 90% | 10% | 0% | ・「やってもできない」という生徒に対して、「時間をかけてもできるようにしたい」という前向きな意欲を育てる。 |
| | | | 2. 情報の活用や意義の理解と情報活用を行うための能力と態度の育成 | (目標) 全商ワープロ実務検定1級合格者10名、全商情報処理検定1級合格者5名、日商簿記検定3級合格者5名 ・放課後の補習授業への取り組みによって目標達成に向け成果をあげることができたか。 | 全商ワープロ検定1級合格者10名 全商情報処理検定1級合格者1名 日商簿記検定3級合格者1名 | 0% | 100% | 0% | 0% | 0% | ・進路を見据えて目的意識を持たせる。 |
| | 福祉コース 担当者会 | | 1. 福祉に関する基礎的知識と技術の修得 | ・授業内容の充実を図り、生徒にその内容を身につけさせることができたか。 | ・授業に対する意欲に課題 | 0% | 0% | 71% | 29% | 0% | ・2年次福祉コースを選んだ生徒にカリキュラムの見直しをしっかりと伝える。 |
| | | | 2. 福祉に対する姿勢・態度の育成 | ・施設訪問・実習を有機的に配置し、生徒に意欲的に取り組ませることができたか。 | ・新たな施設の訪問先を開拓し、生徒は意欲的に取り組めた。 | 0% | 0% | 86% | 14% | 0% | ・春休みと3年次5月の実習に万全の準備をし、実りのあるものにした。 |
| | | | 3. 訪問介護員2級資格の全員取得 | ・訪問介護員2級資格を全員が取得できたか。 | ・昨年度は全員取得できた。本年度は順調に見込みが立っているが、取得は5月である。 | 0% | 0% | 83% | 17% | 0% | |
| | 開かれた学校づくり、 地域との連携 | 教務 | 情報 | 1. 学校教育活動の公開 | ・公開授業等地域の要望に応える学校の公開の機会を設けることができたか。 | ・参加者の低迷 ・公開授業週間では地域の防災無線による広報を行い、若干の参加者増があった。 | 36% | 57% | 7% | 0% | ・広報活動の機会の開拓と、内容の一層の充実を図る。阿南高校協会の積極的な活用も検討を進める。 |
| 2. 中高連携 | | | | ・学校の様子を定期的にホームページで公開できたか。 ・また、フォトだよりなどの広報活動ができたか。 | ・HPを全面改定し、更新期間も短縮することができた。 ・フォトだよりを10月に発行し、近隣の関係施設に掲示依頼を行った。 | 50% | 36% | 14% | 0% | ・フォトだよりの作成時期、活用方法について更に検討が必要。 | |
| 学校評議員会 | | PTA 同窓会 各係 | 3. 学校評議員 | ・学校の現状を理解してもらうと共に、地域の要望や意見を交換することができたか。 | ・中学校訪問は21校実施し、学校近況のPRや選抜方法の周知徹底等の成果があった。 | 27% | 67% | 7% | 0% | ・クラブ活動や行事等の連携に関しては中卒からの要望を調査して計画したい。 | |
| | | | 4. PTA総会・地区懇談会 ・教育懇談会 ・教務的活動 ・広報的活動 | ・各行事において、十分に計画が練られ、保護者や地域との結びつきを深める有意義な行事となったか。 ・研修旅行や講演会などで教養を高め、かつ懇親も深まったか。 ・学校と家庭、地域で共有する話題や問題について広報できたか。 ・本校の状況や課題に見合った内容の研修の機会を設定できたか。 | ・強歩大会時の豚汁作りや給水など多くの保護者が参加してくれた。 ・研修旅行については、インフルエンザのため中止した。 | 29% | 71% | 0% | 0% | ・生徒が充実した高校生活を送ることができるように家庭・地域・卒業生も含めた環境作りを進めていく。 ・強歩大会の豚汁作りはこれからも継続。 ・旅行の中止判断の時期については検討が必要。 | |
| | | | 1. 職員研修の工夫 | ・本校の状況や課題に見合った内容の研修の機会を設定できたか。 | ・各係の企画による校内研修が複数回実施。 | 8% | 92% | 0% | 0% | ・考査日の午後など時間を有効活用して必要な研修の企画を行う。 | |
| | | | 2. 情報セキュリティポリシー・プライベートポリシーの遵守 | ・外部からの不正アクセスや情報漏洩の防止対策を施す。 ・全職員に対して、個人情報の重要性やその適切な取り扱いについて研修・啓発を実施し、法令その他の規範を遵守する。 | ・校内広報写真の本人承諾や新聞記事、大会写真の使用許諾等の徹底を図った。 ・PTA総会でプライベートポリシーに関する説明を実施 | 7% | 67% | 27% | 0% | ・情報管理に関する校内研修会を実施したい。 | |
| 組織運営 | | 学校安全衛生 | 3. 健康と安全管理 施設防災 | ・職員の健康管理と学校安全は図られたか。 ・災害に対する備えと体制は確認できたか。 | ・実際の地震により、災害時における緊急連絡網の確認ができた。 | 8% | 77% | 15% | 0% | ・関係交通機関(特にJR)との連絡を今後ともしっかりとこなっていく。 | |
| | | | 4. 学校評価 | ・生徒、保護者及び学校関係者などから、授業評価、外部評価を行う。 | ・9月に保護者対象、12月に職員・生徒を対象、1月に学校評議員を対象にアンケートを実施した。 | 7% | 86% | 7% | 0% | ・保護者からの回収率を上げた。実施時期の検討も必要。 | |